

# GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

～地球をよく知り、地球と共生する～

2013

9

Vol. 2 No.9



## 口絵

---

地質標本館 第 5 回地質写真コンテスト受賞作品の紹介 (2)	地質標本館	257~258
地質標本館の体験学習教材: 筑波山見たまま砂絵で地質図	芝原暁彦・住田達哉・加藤碩一	259~260

---

シームレス地質図でたどる幸田 文『崩れ』(第 8 回)	森尻理恵・中川 充・斎藤 眞	261~264
天売島周辺の海底下の地質を調べる	荒井晃作・山崎俊嗣・駒澤正夫	265~269
地球化学図からテクトニクスを読むー黒潮古陸は再浮上するか?ー	田中 剛	270~273
平成 24 年度廣川研究助成事業報告 (2) スイスにおける地中熱システムの現状	吉岡真弓	274~278
3D 模型と砂絵で楽しむ筑波山のジオ ー地質図を立体的に理解するための砂絵教材の開発とイベントでの活用ー	芝原暁彦・住田達哉・加藤碩一・大和田朗・佐藤卓見	279~281
誕生石の鉱物科学 — 9 月 ブルー・サファイア (2) —	奥山康子	282~283
地質標本館 第 5 回地質写真コンテスト結果について (2)	宮内 渉・青木正博	284

## ニュースレター

---

日本ジオパーク委員会公開プレゼンテーション開催報告	住田達哉・宮内 渉・下川浩一・利光誠一・濱崎聡志	285~286
第 21 回 GSJ シンポジウム「古地震・古津波から想定する南海トラフの巨大地震」開催報告	丸山 正	286~287
新人紹介 風早竜之介 (地質情報研究部門), 内出崇彦 (活断層・地震研究センター)		287~288
スケジュール / 編集後記		

## 表紙説明

### 上総一ノ宮玉前神社の境内にある“さざれ石”

さざれ石は、元来小さな石(細石)の意味であるが、長い年月をかけて小石の欠片の隙間を石灰岩が溶解して生じた炭酸カルシウムが埋めることによって、1つの大きな岩の塊に変化したものがさざれ石と呼ばれることが多い。千葉県長生郡一宮町に鎮座する玉前神社は鎌倉時代より上総国の一宮として格式を保ってきており、現在の建造物も鎮座以来 1200 年以上経過しているといわれている。君が代で親しまれているさざれ石が、当時の内閣総理大臣であった橋本龍太郎の揮毫の碑を添えて境内に奉納されている様は、一見の価値がある。(写真・文:七山 太<sup>1)</sup> 1) 産総研 地質情報研究部門)

### Cover Page

The Sazareishi stone in the precincts of the Tamasaki shrine, Ichinomiya, Chiba Prefecture.  
( Photograph and Caption by Futoshi Nanayama ).

---

本誌の PDF 版は次のホームページでオールカラーで公開しています。 <http://www.gsj.jp/publications/gcn/index.html>